

第1回 NITS 大賞（平成29年度）エントリーシート

砥部町立砥部幼稚園

B-9

【活動名】 行事の見直しと書類削減による多忙化の改善

解決すべき課題： どんな問題を解決しましたか？

運動会・発表会・誕生会・参観日等の園行事の前は準備に時間がかかり、持ち帰り仕事や残業など超過勤務になることが多い。
書類（園だより クラス通信 教育課程 年・月・週日指導計画 行事指導計画 個別記録 指導要録 日誌 個別の教育指導計画 個別の教育支援計画等）作成や記録が、勤務時間内できないことが多い。
職員が、病気ではないが疲れがたまっている様子が見えたり、仕事を楽しむ余裕がないときが多い。職員同士サポート・カバーできる体制、年休を取得しやすい環境作りが必要である。

目的や背景： 解決すべき課題の背景や、活動の目的をおしえてください

経験の少ない若手職員が書類作成や保護者参加の行事が負担となっている様子が見えたり、自信を失っているように感じられた。心を開いて話し合える関係、助け合うチーム作りの必要性を感じた。
以前より「幼稚園教諭は家で書類や教材作りをするのが当たり前」になっており、上司や他の職員が把握できない持ち帰り仕事があり、残業も多く、仕事内容や働き方を見直す必要があった。
待機児童対策の一環として、平成30年度より、幼稚園から認定こども園（幼保連携型）に移行することが決まった。隣接する保育所との施設の統合、0歳児からの受け入れ、19時までの保育時間等、移行に向けて対応できるように計画・準備しておかなければならなくなった。

活動内容： 何をしましたか？

子育て支援課との連携
・ 人事評価システムから業務評価の職務目標に、「若手職員の育成と業務内容の改善」を掲げ、現状・達成基準（いつまでに どうする）を提示した。期別に進捗状況を報告し、子育て支援課課長に指導と助言を受け、行政と連携して取り組んだ。
・ プレミアムフライデーの呼び掛けに応え、交替で時間休暇を取得するようにした。

園行事の見直し

・ 運動会・発表会のダンスや劇の衣装作りは、普通のみシンにプラスしてロックシンを使用し、大道具・小道具作りも含め、作業工程を分担して効率化していった。
・ 誕生会は毎月行わず、人数を調整し、2ヶ月まとめて行う月も作った。また、誕生児紹介の壁面は枠を同じにした描画のみに簡素化した。
・ 誕生時の冠やプレゼント作り、マラソン大会のメダル作りなど、夏休みや冬休み中に一括して製作することにした。
・ 職員の出し物（劇やダンス）は発表会を省き、誕生会と夕涼み会のみにした。
・ 餅つき・カバの歯磨きイベント・動物慰霊祭・食のサポーター事業等は、こども園への移行に伴い、来年度からは取りやめることを町内7つの幼稚園・保育所で話し合い決定した。
・ 教材室の整理（見える化）を行い、衣装など過去に作った物に手を加えることによって再利用できるよう効率化した。

書類の簡素化

・ 様式を見直し、可能なものからB4 A4に変更した。
・ 週日案の日々の評価反省は、5行以内を目指し、ポイントを押さえて記入するようにした。
・ 行事指導計画は、紙媒体だけでなくデータとして共通のフォルダに残し、全職員が共有できるようにした。
・ 活動図や環境準備などは、文字・図式を減らし、積極的に写真を活用し、写真で伝達保存するように改善した。

活動の成果： それによって、どんな成果が得られましたか？

残業や持ち帰り仕事が増えた分、疲れを溜めることがなくなり、教師が気持ちの余裕を持って園児と向き合えるようになった。また園児の興味や関心に沿った活動を取り入れ、教師自身が個性（持ち味や良さ）を発揮して仕事に取り組めるようになった。保護者との信頼関係もより良いものになった。
協力体制が整ったこともあり、若手教諭が自信を取り戻し、クラス担任としての役目を果たし、生き生きとした表情で日々を送っている。
こども園移行への見通しが持て始め、準備を進めることができている。

アピールポイント（アイデア）： もっとも、がんばったこと、注目したことをアピールしてください。

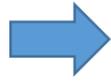
職員の多忙化の改善の為に、削減・簡素化だけを進めるのではなく、園児の体験を損なわないよう職員間で繰り返し話し合っ進めて行った。時間はかかっても手作りの良さや温かさ・地域とのつながり・指導計画の必要性など大切にすることを押さえたうえでの実践ができた。
年度当初立てたテーマ「仕事を楽しむ。そして支え合う」が実践できていることを嬉しく感じる。

活動内容の例

園行事の見直し



衣装作りの作業工程を分担



誕生児紹介は花枠の中へ描画



教材倉庫の見える化



書類の簡素化



園便り・指導計画 B4 A4へ



評価反省は5行で



環境図は写真で保存

アピールポイント



園児の体験を大切に（砥部焼作り）



若手教諭が自信を取り戻した。
「仕事を楽しむ。そして支え合う。」